



環境省

エコアクション21  
認証番号0008273

作成日：2025年4月11日

作成者：本社総務部 大石和生

# 環境経営レポート

【2024年度】

対象期間：2024年2月から2025年1月



**DB** 大博鋼業株式会社

# 目次

---

1P

表紙

---

2P

目次

---

3P~4P

組織の概要

---

5P

組織図

---

6P

環境経営方針

---

7P

対象範囲・環境経営目標と実績-① (環境負荷の現状)

---

8P

環境経営目標と実績-② (目標設定と実績、および今年度以降の目標)

---

9P

主な環境経営計画の取組結果と評価

---

10P~11P

2024 年度 環境経営計画の取組結果の評価(詳細)

---

12P

環境関連法規等への違反の有無

---

13P

次年度の取り組み

---

14P

代表者による全体の評価と見直しの結果

---

# 1.組織の概要

## ①事業所および代表者氏名

事業所名：大博鋼業株式会社

代表者名：代表取締役 山口 毅

## ②所在地

事業所名	住所	人数
本社	大阪市西区九条南 2-23-20	28 人
波除工場	大阪市港区市岡元町 2-5-18	4 人
姫路営業所	姫路市飾磨区恵美酒下長 301	13 人
広島営業所	広島県安芸郡海田町栄町 6-10	15 人
福山営業所	広島県福山市神辺町川南 818-3	17 人
四国営業所	香川県三豊市高瀬町新名 647-1	16 人
福岡営業所	福岡県粕屋郡須恵町大字植木 155-1	16 人
北陸営業所	石川県金沢市福久町カ-1	13 人

## ③EA21 責任者および担当者

環境管理責任者：本社総務部 大石 和生

担当者：同上

連絡先：(TEL) 06-6581-8340

(FAX) 06-6583-3700

## ④事業の内容

鉄鋼卸販売業

## ⑤事業の規模

活動規模	単位	2022 年度	2023 年度	2024 年度
販売量	t	24,551	23,076	19,846
売上高	百万円	7,370	7,470	7,258
従業員数	人	118	130	122
床面積	m <sup>2</sup>	11,192	12,950.15	12,950.15
クレーン 3t	基	27	27	27
切断機械	台	37	38	39

## ⑥事業の経緯

私ども大博鋼業は昭和 21 年、磨シャフトの卸販売業として創業以来、豊富な経験とお客さまに恵まれ、その間安定した成長を続け、おかげさまで業界のトップクラスの地位をいただいております。大博鋼業は“お客さまとの信頼感”を経営理念として 21 世紀を迎え、限りなく高度化や多様化、さらに合理化・省力化するお客さまのニーズにお応えすべく、社員共々、尚一層お客さまに信頼され、そして企業価値のある会社を目指してまいります。お客さまに時間・満足・情報をご提供し、“信頼という流通”の担い手になれるよう、努めてまいります。

当社は現在、100 年企業に向けての歩みを進めております。100 年企業を目指すには、加速度的に変化する環境に対応していくことが重要と考え、まずは足元の課題である現場作業の効率化・事務業務の省力化及び環境整備にも積極的に取り組んでおります。

また、将来的には磨シャフトのみならず新製品やサービスの開発・提供など、幅広い視点で企業及び業界の成長を目指しております。引き続き、お客様の期待を超えるサービスが提供できるよう、また社内・外から魅力を感じていただける企業であり続けるよう、さらに努力を続けてまいります。

今後とも、より一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

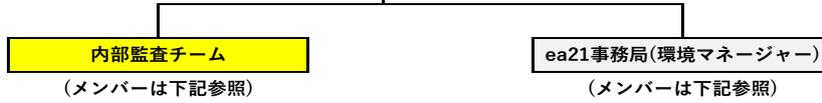


# 大博鋼業株式会社 EA21実施体制図および役割・責任・権限表



作成者：大石  
更新日：2024/03/13

変更箇所は黄色表示



役割	本社	波除	姫路	四国	福山	広島	福岡	北陸
課長・所長	太田		大山	小野	吉田	小野	石内	木村
環境マネージャー	在田		天野	橋本	鹿見嶋	島山	築地	川上
営業・事務部門長	小滝		大山	福家	庄司	穴見	松尾	山口
現場部門長	多田	竹本	宝角	橋本	手島	杉浦	中寄	木村
運送部門長	松田	-	日高	黒木	井上	渡辺	権藤	新瀨
CO2排出量管理者	下田		天野	佐々木	永田	秋好	築地	波野
電気使用量管理者	大石	竹本	高坂	佐々木	渡辺・峰山	杉浦	長岡	足田・星野
ガス使用量管理者	野口	山下	-	宮崎	脇谷	-	-	川元
ガソリン使用量管理者	前川	-	中塚	黒木	羽原	穴見	松尾	川上
軽油使用量管理者	川口(荻野)	-	井戸	横山	高梨・尾瀬	五反田・斎藤	橋口	新瀨
灯油使用量管理者	原口	荻野	梅本	橋本	鹿見嶋	溝手	藤田	竹澤
一般ゴミ排出量管理者	富高(多田)	-	瀬戸口	箱崎	大宮(勝)・連下	大山	品田	星野
水使用量管理者	小田	荻野	瀬戸口	若宮	鹿見嶋	渡辺	川島	中嶋
スクラップ管理者	濱田(多田)	竹本	中村	橋本	手島・梅田	蓮下	中寄	木下
切削油管理者	濱田(山田)	宮川	天野	今井	横内・大宮(幸)	甲谷	池内	木本
段ボール管理者	福田	-	瀬戸口	吉田	鹿見嶋	植田		木本
廃油管理者	在田	在田	天野	橋本	鹿見嶋	島山	築地	川上

	役割・責任・権限	
代表者(社長)	* 環境経営に関する統括責任 * 環境管理責任者を任命	* 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 * 環境目標・環境活動計画書・環境活動レポートを承認
環境管理責任者	* 環境経営システムの構築・実施・管理 * 環境関連法規等の取りまとめ票を承認、及び遵守評価の承認 * 環境目標・環境活動計画書を確認	* 環境活動の取組結果を代表者へ報告 * 環境活動レポートの確認
EA21事務局 (環境マネージャ)	* 環境管理責任者の補佐 * 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 * 環境目標・環境活動計画書原案の作成 * 環境活動の実績集計 * 環境関連法規等取りまとめ票の作成	* 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 * 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 * 環境活動レポートの作成と公開(事務所備付) * 自営業所の所長・部門長・管理者の補佐 * 廃油の管理
所長	* 自営業所における環境経営システムの責任者 * 自営業所における環境方針の周知 * 自営業所の従業員に対する教育訓練の実施	* 自営業所に関連する環境活動計画の進捗・達成状況の確認 * 特定された項目の手順書及び運用管理の確認
部門長	* 自部門における環境方針の周知 * 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 * 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告	* 特定された項目の手順書作成及び運用管理 * 自部門の問題点の発見・是正・予防処置の実施
管理者	* 特定された項目の手順書作成及び運用管理 * 自部門の集計及び部門長への報告 * 自部門の問題点の発見・是正・予防処置の実施	
全従業員	* 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 * 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加	
内部監査チーム	* 各事業所の環境活動の実施に関する内部監査 * 内部監査結果の報告 * 内部監査チームのメンバーは、環境マネージャーとする	

# 環境経営方針

弊社は、企業活動を通じて環境問題が人類共通の重要な課題であることを認識し、地球環境の保全や環境法規の遵守に努め、環境と調和した豊かな社会づくりに貢献します。

1. わが社は、鉄鋼販売卸売業の会社として全社員で協力し、環境経営システムを構築し、下記事項を重点テーマとして、効果的な取り組みを行います。

- ① 鉄鋼製品の切断時に発生する端材を有効活用し、不良スクラップ量の削減に努めます。
- ② 電気・水・燃料等、CO<sub>2</sub>・資源・エネルギーの排出量・使用量削減に努めます。
- ③ 一般廃棄物の排出量削減につとめます。

2. 環境関連法規、各市町村条例を遵守致します。

3. この環境経営方針をもとに環境目標を定め、見直し・改善を行い、環境管理レベルの向上を図ります。

4. 以上の環境経営方針を全社員に周知徹底し、環境に対する意識を各々高め会社全体の環境保全に努めます。

5. 経営における課題とチャンスを踏まえて、経営します。

6. 環境経営の継続的改善を誓約します。

また、エネルギー費用やスクラップの削減だけでなく、不良スクラップを抑えることで、ミスの軽減にもつながり、お客様への信頼も厚くなり、持続的に継続することによって、売上数字を伸ばすことを目的といたします。

作成日：2011年4月1日

改訂日：2024年3月14日

大博鋼業株式会社

代表取締役 山口 毅

## 2.対象範囲

エコアクション 21 の認証登録の対象範囲は、全組織・全活動です。

## 3.環境経営目標と実績

### ①環境負荷の現状

項目	単位	基準年				本年度
		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
CO2 排出量	kg-CO2	560,047	611,748	526,825	566,400	563,992
一般廃棄物排出量	kg	5,905	7,227	6,659	6,950	6,838
水使用量	m <sup>3</sup>	1,525	1,519	1,392	1,389	1,366
スクラップ排出量	kg	291,956	337,766	366,318	359,608	374,894
グリーン購入 (純増数)	品目数	-	-	-	-	-



\* CO2 排出量算出に用いた電力の排出係数:2018 年度からの排出係数は、0.493 kg-CO<sub>2</sub>/kWh (2016 年度関西電力調整後)とするが、次回からは最新の排出係数 (0.434 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 2023 年度関西電力調整後) に切り替える。

\* グリーン購入については、スタートしてから 10 年以上が経過し、これ以上大きく純増が難しく、2024 年度から項目は削除する。(2020 年度から、数値計測をしていない)

## ②目標設定と実績、および今年度以降の目標

2024年度以降の環境経営目標については、2025年3月に「目標見直し会議」を行った。その結果2025年度からは、2024年度を新たな基準年度とし、以降年度ごとに各項目1%削減(増)とした。不良スクラップ発生件数については、通常通り重要課題であることから年度ごとに10%削減とする。

項目	単位	2024年度 (新基準年)	目標					
			2025年度		2026年度		2027年度	
電気使用量	kWh	534,792	529,444	1%削減	524,096	2%削減	518,748	3%削減
灯油使用量	L	1,354	1,340	1%削減	1,327	2%削減	1,313	3%削減
一般廃棄物排出量	kg	6,838	6,770	1%削減	6,701	2%削減	6,633	3%削減
水使用量	m <sup>3</sup>	1,366	1,352	1%削減	1,339	2%削減	1,325	3%削減
ガソリンの燃費	km/L	14.71	14.86	1%向上	15.00	2%向上	15.15	3%向上
軽油の燃費	km/L	7.65	7.73	1%向上	7.80	2%向上	7.88	3%向上
不良スクラップ発生件数	件数	398	358	10%削減	318	20%削減	279	30%削減

\*当社は2011年4月より、EA21認証取得に向かって、環境活動に取り組んできた。その中で、幾つかの項目で変更点があるので、変更点を下記に記載する。

年度	項目	変更前	変更後
2012年	ガソリン	使用量削減	燃費向上
2012年	軽油	使用量削減	燃費向上
2018年	スクラップ	現単位削減	不良スクラップ発生件数
2024年	廃油	-	管理項目に追加

\*都市ガスおよびLGPについては、微量につき使用量の把握は行うが、数値目標設定は行わない。また、切削油および段ボールについても同様に把握はするが、数値目標は行わない。

\*化学物質は使用していない。

\*自らが生産・販売・提供する製品およびサービスに関する項目は「スクラップ発生件数」です。

\*2024年度から新しく管理項目に廃油欄を追加した。廃油についても把握はするが、数値目標設定は行わない。

# 4. 主な環境経営計画の取組結果と評価

各事業所(本社+6 営業所)に取り組みを設定した。いずれの事業所においても、ほとんどの取り組みが良く実行されていた。代表として、本社の環境活動を添付する。

\* 表 1 が 2024 年度、表 2 が 2025 年度とする。

表 1 (2024 年度 環境活動計画)

項目		計画	2月評価	3月評価	4月評価	5月評価	6月評価	7月評価	8月評価	9月評価	10月評価	11月評価	12月評価	1月評価	年間評価
二酸化炭素 排出量	電力の削減	【空調使用時のルール】 夏場25~27℃ 冬場21~25℃の設定を行う。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		エアコン点検・フィルター清掃。(3カ月に1回)		○			○			○			○		○
		エアコン使用時でも定期的に換気を行う。(感染対策の為)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		スポットクーラー、コンプレッサ点検。(3ヶ月/1回)		○			○			○			○		○
	灯油使用量の削減	灯油 200ℓ 缶の購入を止め、18ℓ ポリタンク 4個で購入・管理。	○	○										○	○
燃料使用量の削減	配達	遠方で1か所のみ配達は、営業スタッフと工場長で必ず相談する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	営業・配達	タイヤ圧日常点検。(足で押す) エコドライブ10の取り組み。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般ゴミ総排出量	紙	伝票の打ち間違いを防ぐ。 印刷後、破棄する書類の裏面再利用。	○	△	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	○
	可燃ゴミ	分別。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水使用量の削減	節水	休日が3連休以上の場合は検針を行う。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
端材の有効活用	スクラップ削減	お客様・事務所・営業要因のスクラップは課長へ報告。 現場要因は、工場長へ報告。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		不良スクラップのカウント。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		端材使用強化月間。(サイズ特定) * 3ヶ月/1回実施	△	△	○	△	△	○	△	△	○	△	△	○	△

△…追加項目      削除項目      必要のない場所の電気は消す      ○出来ている △充分でない ×出来てない

表 2 (2025 年度 環境活動計画)

項目		計画	2月評価	3月評価	4月評価	5月評価	6月評価	7月評価	8月評価	9月評価	10月評価	11月評価	12月評価	1月評価	年間評価
二酸化炭素 排出量	電力の削減	空調使用時のルール 夏場25~27℃ 冬場21~25℃の設定を行う。	○	○											
		エアコン点検・フィルター清掃(3カ月に1回)		○											
		エアコン使用時でも定期的に換気を行う (感染対策の為)	○	○											
		スポットクーラー、コンプレッサ点検 (3ヶ月/1回)		○											
	灯油使用量の削減	灯油 200ℓ 缶の購入を止め、18ℓ ポリタンク 4個で購入・管理	○	○											
燃料使用量の削減	配達	遠方で1か所のみ配達は、営業スタッフ と工場長で必ず相談する。	○	○											
	営業・配達	タイヤ圧日常点検(足で押す) エコドライブ10の取り組み	○	○											
一般ゴミ総排出量	紙	指示書入力間違い手配間違いを減らす	△	○											
	可燃ゴミ	分別	○	○											
水使用量の削減	節水	休日が3連休以上の場合は 検針を行う	○												
端材の有効活用	スクラップ削減	お客様・事務所・営業要因のスクラップは 課長へ報告。現場要因は、工場長へ報告	○	○											
		不良スクラップのカウント	○	○											
		端材使用強化月間(サイズ特定) 3ヶ 月/1回実施	△	△											

△…追加項目      削除項目      伝票の打ち間違いを防ぐ      ○出来ている △充分でない ×出来てない

## 5.2024 年度 環境経営計画の取組結果の評価(詳細)

### 2024 年度実績の評価

項目	単位	目標※	実績	達成率	評価
電気使用量	kWh	513,677	534,792	96%	△
灯油使用量	ℓ	1,795	1,354	133%	○
一般廃棄物排出量	kg	7,010	6,838	103%	○
水使用量	m <sup>3</sup>	1,473	1,366	108%	○
ガソリンの燃費	km/ℓ	11.89	14.71	124%	○
軽油の燃費	km/ℓ	7.71	7.65	99%	△
不良スクラップ発生件数	件	643	398	162%	○

#### 【評価】

○：目標達成 △：ほぼ達成（削減 80%以上） ×：未達成（削減 80 未満、是正項目とする）

達成⇒削減項目 = 目標/実績(%) 向上項目 = 実績/目標(%)

CO<sub>2</sub> 排出量の総合計：563,914.00 kg-CO<sub>2</sub>

※ 2024 年度目標値については、各営業所の計画値を集計し、全社目標値を算出している。各営業所の計画値(年度目標値)については、代表者見直し時に営業所の諸事情を配慮した。

#### ① 電気使用量の削減

波除と福山営業所に関しては達成されており、厳しい条件下にも関わらず節電を心掛けているのが見て取れた。福岡営業所では、7 月以降電気使用量が大幅に上昇したため是正処置を提出している。要因としては、切断の量産品が始まり、晩掛けの回数が前年に比べ大幅に上昇したことが要因だと思われる。それ以外の営業所は是正処置が必要ない程度の未達成であった。

**\*ただし四国営業所に関しては、営業所の移転があったことにより目標数値の決定が難しいので、目標数値を 2023 年に設定している。**

#### ② 灯油使用量の削減

姫路・福山・広島の 3 拠点は灯油使用実績がない。残り 5 拠点の内、本社・波除・四国・福岡の 4 拠点は達成、北陸営業所のみ未達であった。未達の要因として、10 月に灯油の使用実績があったのに対し、昨年 10 月には実績が無かった為、その分の数値が増えたことにより未達になったと推測している。

#### ③ 一般廃棄物排出量の削減

本社・姫路・福山の 3 拠点のうち、姫路と福山の 2 拠点が是正処置の必要がない程度の未達成であった。本社は 120%を超えており、是正処置を提出してもらっている。要因としては、袋一杯になる前にゴミを纏めて捨てていたことや紙を丸くせずに捨てていたことが要因と推測している。

#### ④ 水使用量の削減

広島・福岡の 2 拠点が、是正処置の必要のない程度の未達成であった。その他の営業所は順調に目標を達成した。

#### ⑤ ガソリン燃費向上

姫路以外（波除を除く）の 5 拠点が是正処置の必要のない程度の未達成であった。目標を達成した姫路に関しては、燃費の良好な営業車に切り替えているのが要因と推測している。

#### ⑥ 軽油の燃費向上

本社・姫路・広島の 3 拠点が、是正処置の必要のない程度の未達成であった。また、福岡営業所では合計 3 台あるトラックのうち 1 台を廃車にしており、本来であれば 2 台分の計画数値に変更する必要があったが、変更していなかった為、福岡営業所としては達成していたが、是正処置を提出してもらっている。

#### ⑦ 不良スクラップ発生件数の削減

各営業所ともに、きわめて順調に目標を達成した。全社で見ても、大きく目標を達成できており、活動の効果が出ている。

## 6.環境関連法規等への違反の有無

環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟等の有無については、弊社に適用される主な環境関連法規等の一覧及びそれらの遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありません。

なお、関係当局よりの違反等の指摘・環境法規等の訴訟は過去 3 年間ありません。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	評価
廃棄物処理法	一般廃棄物・産業廃棄物（有価物で処理）	○
騒音規制法	空気圧縮機 法律・条例に従い届け出	○
振動規制法	空気圧縮機 法律に従い届け出	○
消防法	スプレー缶・灯油・防錆油 指定数量 0.2 未満	○
水質汚濁防止法	切削油等 下水への流出禁止	○
下水道法	切削油等 下水への流出禁止	○
浄化槽法	法定点検の実施	○
フロン排出抑制法	業務用エアコンの点検・記録機器廃棄後も 3 年間記録保存	○

\*○：遵法できている

## 7.次年度の取り組み

2025 年度については、「環境経営計画」を下記のように削除・変更・追加を行う。

### 削除

事業所	項目	計画	理由
本社	ゴミ	伝票の打ち間違いを防ぐ。	コスト削減削減。
姫路	端材	端材置場の整理整頓。	習慣化するため。
姫路	端材	端材置場の表示の徹底。	習慣化するため。
福山	-	-	-
広島	-	-	-
福岡	燃費	エンジンをかけたまま積み下ろししない。	習慣化するため。
福岡	燃費	洗車時に水を出したままにしない。	習慣化するため。
四国	端材	端材棚の整理整頓。	習慣化するため。
北陸	効率化	配達前のエリアチェック確認。	習慣化するため。
		裏紙をメモ用紙などに再利用。	習慣化するため。
		インカムの有効活用。	近所で無線使用があり、雑音などで使用できなかった。

### 追加・変更

事業所	項目	計画	理由
本社	ゴミ	指示書入力・手配間違いを減らす。	コスト削減削減
姫路	端材	端材を長差別で管理する。(鋼種別に)	スクラップ削減
広島	節水	洗車時に高圧洗浄機を使用する。	コスト削減
四国	その他	社内備品の再利用。	端材の有効活用
福山	節電	コンプレッサーフィルターの清掃実施。	節電対策
福岡	節電	空調を使用時、同時間帯のスイッチを付けない。	作業効率化
北陸	電力	オンオフの徹底・消し忘れ防止。	節電対策
北陸	燃費	遠方エリアの曜日決め。	コスト削減

## 8.代表者による全体の評価と見直しの結果

代表者による全体の評価と見直し会議を 2025 年 3 月 28 日に行った。その結果を下記に記載する。

### 見直しに必要な情報（環境管理責任者のコメント・提案）

#### 【環境経営方針】

\* 変更の必要はありません。

#### 【環境経営目標・環境経営計画】

- ① スクラップに特化した内容を重点的に確認する内部調査を行い、各拠点の現場作業員がスクラップの取り扱いについて理解していた。
- ② 実績書の計画値が 2021 年に設定されており、従業員の増加や環境の変化による影響で達成が厳しくなっている為、計画値を前年度もしくは、2024 年に設定することを計画している。

#### 【環境経営システムの各要素】

- ① 2025 年度より、広島営業所にて環境マネージャーが北氏から畠山氏へ交代する。
- ② SR チームの代わりに、環境マネージャーが内部調査チームとして発足する。(2024 年 10 月から 11 月にかけて実施済。)
- ③ 名刺に記載しているロゴマークの一部を変更し、パートナーシップ構築宣言マークを記載する。
- ④ EA21 頑張ったで賞に関して、今回は波除工場が該当しております。

### 変更の必要性の有無・指示事項（代表者）

#### 【環境経営方針】\* 変更の必要性：無

変更点は特にありませんでした。

#### 【環境経営目標・環境経営計画】\* 変更の必要性：有

- ① 引き続き内部調査を継続し、不良スクラップを減少させてほしい。
- ② 長いスパンでの数値の変化を捉えるのも大切なので、一旦は 2024 年で設定し継続していく。

#### 【環境経営システムの各要素】\* 変更の必要性：有

- ① 広島営業所の環境マネージャーの交代を認める。
- ② 次回内部調査から双和(株)を交え、引き続き調査を行ってもらう。
- ③ 名刺にパートナーシップ構築宣言マークを記載する体制を認める。
- ④ 5 月に行われる中間審査に通れば、表彰を行う。